

令和4年度 第2回 佐伯市行財政改革推進委員会（抄録）

開催日時 令和4年11月18日（金）午後2時から午後3時50分まで

開催場所 佐伯市役所本庁舎 6階大会議室

出席者

委員：安部秀昭（会長）、岩佐礼子（副会長）、青木栄二、大島美津子
河野照代、神田芳、塩月藍、田北正宏、山田美之
以上9名（13名中）

市職員：田中市長、武田副市長、山崎副市長
清家総合政策部長、榎総務部長、行財政改革推進検討部会員
行政マネジメント課職員（事務局）

*各振興局長はTV会議システムを活用してリモートにて参加

1 開 会 田中市長による開会あいさつ

2 会長あいさつ

3 議 事

①佐伯市行政経営推進プランの進捗状況について（令和4年度取組中間報告）
事務局が、進捗状況について説明した。

(1) 基本方針1 職員の意識改革と組織力の向上

○人件費の適正化

- ・行革の肝の部分であり、確かに人件費の適正化は必要だが、権限移譲など仕事量が増えているという現状もある。業務の見直しを含め、状況を見極めて削減していただきたい。

○職員採用試験の多様化

- ・更なる工夫を行い、効果的な募集方法を検討すること。
- ・売手市場になって、なかなか人が見つからないのが現状。民間は人材をいかに早く獲得するか工夫している。これからのICT社会では、常に学び続けないと、生産性の向上には行きつかない。人材確保についての工夫が見受けられないと感じた。副業についても、今後は考慮していく必要があると感じている。

○本庁と振興局と出張所のあり方と再編の検討

- ・効率的、効果的を言えば、当然本庁に集約となるが、振興局も災害時など、いろんな部分で重要な役割があると感じている。ある程度本庁への集約と、振興局で機能強化すべき部分も検討して、地域住民の安心安全につながるよう取り組んでほしい。

(2) 基本方針2 持続可能な財政運営の確立

○ふるさと納税の推進

- ・現状では目標値を達成することは厳しい状況かもしれないが、目標達成に向け引き続き努力して頑張してほしい。
- ・低価格な返礼品に集中してしまい、売り上げがなかなか上がらないのが現状である。地域によって高額な返礼品の事例があれば研究してほしい。

○企業版ふるさと納税の推進

- ・HPの充実も大事ですが、直接的なアプローチが非常に効果的な手段と感じる。今後の取組にも企業へ寄附依頼を行うと記載しているので、そういった活動をされると思うが、ぜひ力を入れていただきたい。

(3) 基本方針3 公共施設等マネジメントの推進について

○観光施設の見直し

- ・老朽化などにより観光施設を訪れた人から、怖いとか寂れているとか負の感情をもってもらくのは残念なので施設の維持補修について早急に対応してほしい。

(4) 基本方針4 行政の質と生産性向上について

○市広報媒体の効率的・効果的な活用

- ・情報発信は鮮度、発信力、機動力が大事である。SNS等を活用して積極的にPRすること。

○地域に根差した市民協働体制の構築

- ・市民の集う場所、知り合うきっかけを役所で作っていただければ、活躍できるチャンスやきっかけをもらう人が増えると思う。今後の取組にもあるように情報交換の場、発表会等をたくさん計画していただけたら、市民の皆さん力を持っている方がたくさんいるので、面白い佐伯になっていくと思う。

4 今後のスケジュール 次回は令和5年2月10日開催予定

5 閉会 田中市長による閉会あいさつ